

確かな「見方・考え方」を育てる授業づくり

～全員参加を目指した「聞く」ことへの指導の工夫～

(3年計画の4年次)

校長 島浦 靖

1 研究主題について

(1) 教育目標具現化の立場から

青森県及び八戸市の学校教育指導の方針を受けるとともに、児童や家庭・地域社会との連携のもと学校経営に創意工夫をこらし、教育目標「めあてをもって自ら学ぶ子」の育成に取り組んでいく。その根幹として校是である「徳と知識を磨く」という基本理念を共有し、“笑顔いっぱい为学校”を目指している。学校が、子どもたちにとって学ぶ楽しさを実感できる場所でなければならない。その基盤となる学級に受容的・共感的な支持的風土が溢れるとき、子どもは、自分自身が受け入れられ、認められ、かけがえのない存在であることを実感し、学ぶ力が育まれると考えた。

そこで本校では「人とのかかわりを意識した子どもの育成」を学校目標とし、学習指導と学級経営において、次のことに取り組んでいく。学習指導では、考えの根拠や理由を導く確かな「見方・考え方」を育てるために、全員参加の授業を目指した「聞く」ことへの指導の工夫を、日常的な授業実践を通して明らかにしていく。学級経営では、月別生活目標への取組や特別活動の実践、ソーシャルスキル・アンガーマネジメントの指導を通して、安全・安心な生活を送る中で、人との関わり方について具体的に学ばせる。そして、子どもたちの夢や志の実現に向け、生涯にわたって重要な働きをする「見方・考え方」を育成する本研究は、本校の目指す子ども像“笑顔いっぱいの子ども”を具現化するために有効であると考え、研究主題を設定した。

(2) 児童の実態から

この3年間、感染症拡大防止の観点から、個人研究や学年・ブロック研究という形態で校内研究を行ってきた。今年度は、昨年度までの研究をもとに培ったものを全教員が共有し、みんなできる普段使いの授業を目指して研究を進めていくことにした。

昨年度の研究結果から、導入から課題設定における工夫をすることによって、児童に学びの必要感を与えることや、意欲的に学習に取り組ませることにつながることを確かめられた。「聞く」ことを発展させるために、日常の授業において教師が児童の発言を他の児童につなぐ言葉がけ(コーディネータ機能)を工夫したことによって、児童の聞こうとする意識が高まり、自分の言葉で言い換えることができるようになった。しかし、確かな「見方・考え方」を育てるためには、児童が自分ごととして課題に取り組むこと、自己の変容に気付くことが必要である。そのために、問題へのつぶやきや疑問を明確にしたり、自分の立場や考えの変容を視覚的に確認したりする手立ての工夫が必要である。また、児童全員が主体的・対話的に課題解決に取り組むためには、日常的に教師が児童の発言を他の児童につなぐ言葉がけを研究していく。特に、聞く力が弱い児童やうまく話せない児童には、特別支援教育の視点を生かした手立ての工夫や共有が必要であると考えた。

そこで今年度は、「全員参加を目指した『聞く』ことへの指導の工夫」として、人の話を共感的に聞き、児童の発言をつないで引き出す教師の言葉がけや、特別支援教育の視点を取り入れた指導を工夫することによって、物事を捉える力の育成を目指す。

課題解決に向けて、多様な「見方・考え方」を認めることで思考が伸張、深化するとともに、子ども一人一人の個性を尊重し、「自分でもできる」という自己有用感を高めることができ、努力目標の「進んで学ぶ子」の育成につながるものと考えた。

2 研究のねらい

考えの根拠や理由を導く確かな「見方・考え方」を育てるためには、全員参加の授業を目指した「聞く」ことへの指導の工夫が必要であり、日常の授業実践を通して明らかにしていく。

3 研究仮説

日常の授業実践を通して、全員参加の授業を目指した「聞く」ことへの指導の工夫は、児童の考えの根拠となる確かな「見方・考え方」を育てることができる。

4 研究内容

子どもの変容が見える授業づくりとして、以下の2点を示す。

- (1) 導入から課題設定までにおける教師のはたらきかけの工夫が、日常の授業において実践できているかについて検証する。
- (2) 児童の発言をつないで引き出す教師の言葉かけや、特別支援教育の視点を取り入れた指導の工夫が、全員参加を目指した「聞く」ことの指導に効果があったか検証する。

5 年間計画

(1) 授業研究等

月	日	学年・授業者等	全体会等
4	5		令和5年度の研究について共通理解 ・研究の方向性・概要・研修計画 ・研修講座等の確認
6	7		令和5年度の学校訪問について共通理解 ・問題解決的な学習に向けての改善について ・指導案の様式
7	10	【要請訪問】 第1回授業研究 低学年ブロック 2年2組 教諭 ○○ ○○	研究協議会において成果と課題を見出す
9	13	第2回授業研究 高学年ブロック 6年2組 教諭 ○○ ○○	研究協議会において成果と課題を見出す
	20	特別支援学級授業公開	通常学級で活用できる手立てについて研修
11	1	第3回授業研究 中学年ブロック 3年2組 教諭 ○○ ○○	研究協議会において成果と課題を見出す
	22	【JS】公開授業	長者小中学校区における共通課題への取組
12	6	低・中・高学年による「研究報告会」	研究授業未実施学年が報告 今年度の成果と課題（アンケート）
1	12		アンケートの結果の報告 研究の成果と課題
2	7		次年度の研究の方向性について①
2	14		次年度の研究の方向性について②

(2) 一般研修

月	日	一 般 研 修	
6	28	特別支援教育に関わる研修会①	特別支援学級担任
7	12	救命講習会	八戸市消防署本部署員
8	22	特別支援教育に関わる研修会②	特別支援学級担任
9	20	特別支援教育に関わる研修会③	特別支援学級担任
10	11	アンガーマネジメント・ソーシャルスキル研修	校長 島浦 靖
2	14	特別支援教育に関わる研修会④	特別支援学級担任